

平成 24 年度

第50回 越馬徳治科学賞 表彰状授与及び助成金交付式

日時 平成 25 年 2 月 2 日 (土)
16:00 ~ 16:45
式場 金沢ニューグランドホテル

式 次 第

- 1 開式のことば
- 2 表彰状及び記念品等授与
個人表彰
功労者表彰
学校表彰
- 3 助成金交付
学校助成
- 4 表彰状授与及び奨励金交付
研究奨励
- 5 あいさつ
石川県科学教育振興会会長 菱 沼 捷 二
- 6 来賓祝辞
石川県教育委員会教育長 木 下 公 司
- 7 受賞者代表謝辞
- 8 閉式のことば

受賞者等の紹介

1 個人表彰

金沢市立浅野川小学校 教諭 田中 修介

金沢市立十一屋小学校を初任に、同長田町小学校、キゴ山天体観測センター建設事務局主事、金沢市立千坂小学校を経て現在に至る。研究面では、平成17年度石川県理科教育研究大会、平成19年度全国小学校理科研究大会福井大会において、理科学習に関する研究発表の実績がある。指導面では、金沢市児童科学教室指導員、日本宇宙少年団金沢支部リーダー、金沢市城北児童館指導員、石川県児童会館指導員、いしかわ宇宙の学校指導員を務めてきた。また、「理科の学習」編集委員、小教研部会広報「知の創造」編集委員、初任者研修理科実技研修講師、ソニー科学財団SSTA石川支部事務局長、SSTA中日本ブロック研修若手研修主催、SSTA中日本ブロック研修5年部会講師として、幅広く理科教育に貢献している。

金沢市立野田中学校 教諭 船戸 伸之

かほく市立河北台中学校を初任とし、現在に至る。研究面では、平成24年度越馬徳治研究奨励「中学校理科教材の工夫」、金沢市教育委員会理数教育推進事業「学び合い、つながり合い、高め合う教育活動の創造」、金沢市中教研理科部会「意欲的に探究する過程で分析・解釈する力を育てる観察・実験」に取り組んでいる。指導面では、金沢子ども科学財団中学校サイエンスクラブ指導員を務め、高峰賞学校の部優秀賞受賞にも貢献している。また、河北郡市中学校理科教育研究協議会理事、金沢市中学校理科教育研究協議会理事、金沢市教職員研修理科B講師を務め、理科教育の振興に貢献している。

2 功労者表彰

津幡町立条南小学校 教頭 藤井 恒雄

内灘町立大根布小学校を初任に、同向栗崎小学校、高松町立高松小学校、高松町教育委員会社会教育主事、かほく市立外日角小学校教頭、同宇ノ気小学校教頭を経て、現在に至る。高松小学校わくわく教室、かほく市児童科学教室、「いしかわ宇宙の学校」事業に、いずれも発足時から指導員を務め、特に「いしかわ宇宙の学校」事業では、かほく会場総括担当・代表世話人として企画・運営の中心となっている。また、津幡町シグナス児童科学クラブの指導リーダーも務めている。更に、平成20年度より、河北郡市学校教育研究会小学校課程研究会 理科部会副会長、同研究会小学校文化連盟科学研究物審査会審査員を務め、また、平成22年度には第47回理科教育研究大会の事務局長を務め、理科教育の振興に貢献している。

石川県立羽咋高等学校 教頭 国門 源量

金沢高等学校を初任に、石川県立富来高等学校、同金沢松陵工業高等学校、同羽咋高等学校、同羽咋工業高等学校、金沢市立工業高等学校・本科第二部教頭、石川県立中島高等学校教頭を経て、現在に至る。研究面では、石川県理科教育研究大会での研究発表の実績がある。長年、化学に対する生徒の興味・関心を高めるとともに、確かな学力を身につける指導法を工夫し、本県の高等学校における化学教育を常にリードしてきた。また、全国理科教育大会石川大会、北信越理科教育大会石川大会の運営に携わり、平成24年度は石川県理科教育研究大会推進委員を務め、理科教育の振興に貢献している。

3 学校表彰

金沢市立西小学校

(校長 新保 修)

当校は、誰にでもできる理科授業を合い言葉に、授業改善の研究や環境の整備に積極的に取り組んでいる。授業では、思考と表現の一体化を大切にして「思考を表す・促すイメージ図、モデル図の活用」「パフォーマンス評価」を行っている。また、教師の指導力向上のために、春の学級園づくり、夏の星座観察の研修など、教材・教具づくり等の研修を年間計画を立て実施している。環境整備においては、金沢市環境課と連携した絶滅危惧種のミズアオイの栽培、育友会と連携した天体観測会や科学実験講座を開催している。環境教育に絡めた緑のカーテン作りや雨水を使った水やり、コンポストの設置にも長年取り組んでいる。更に今年度は、学校全体の理科指導の系統化と理科教育環境の整備に一層力を入れて実践している。

金沢市立医王山中学校

(校長 井村 香澄)

当校は、理科に対する関心を高めるために標本を展示し、表現力を高めるために定期的にレポートを作成し掲示するなど、理科室の環境整備に取り組んでいる。また、自由研究において、理科室の開放や実験器具の貸し出しを行うとともに、相談日を設け、探究心の育成や表現力の向上に努めている。研究成果を石川県児童・生徒科学作品コンクールに出品し、好成績を収めている。平成17～19年度には、科学技術振興機構「理数大好きモデル地域事業」の研究校として、地域の自然や教育資源をいかした取り組みを行った。平成20年度は、同じく「理数教育における地域型キャリア教育推進事業」の研究校として、理数系の職業に対するキャリア意識の醸成を図ってきた。

石川県立野々市明倫高等学校

(校長 蘭 森 喜美)

当校は、サイエンス部の活動を中心に生徒の科学研究、日本生物学オリンピックへの参加、啓発活動等に積極的に取り組んでいる。サイエンス部の研究は、石川地区中・高等学校生徒化学研究発表会において、毎年その成果を発表している。石川県立大学と連携した研究が3年目となり、「食品の化学」、「ハチミツの糖度測定」等の研究を行っており、平成24年度、全国高校総合文化祭では、県代表として発表を行った。また、3年前から参加している日本生物学オリンピックでは、平成24年度、予選で優秀賞（全国上位5%以内）を受賞した。更に、県教委主催の中学生サイエンスフェアなどの校外行事にも参加し、科学実験の演示や指導を通して、小中学生に対する科学への啓発活動にも取り組んでいる。

4 学校助成

金沢市立伏見台小学校

(校長 大野 政信)

金沢市立高尾台中学校

(校長 正吉 喜久夫)

石川県立金沢泉丘高等学校

(校長 村澤 勉)

平成25年度に金沢で開催される第50回石川県理科教育研究大会の公開授業担当校として、小・中・高等学校をつなぐ理科教育を積極的に推進している。

5 研究機関助成

石川県教育センター

(所長 宗末 勝信)

学習指導要領改訂の柱である理数教育の充実に向け、中学校理科教員の実験力向上のための研修等を実施し、科学教育の振興・発展に努めている。

6 研究奨励（※は研究代表者）

〔優秀賞〕

自然との関わりやつながりの見方・考え方を育てる理科学習
～小学校第6学年「生き物と環境」の指導の工夫～

金沢市立中央小学校教諭 北村 弘樹

子どもが創る理科

－推論しながら追究する子をめざして－

金沢市立中央小学校教諭 山岸 朋子* 金沢市立小立野小学校教諭 矢知加奈恵
金沢市立大野町小学校教諭 服部 綾子

〔優良賞〕

子どもが創る理科

～実感を伴った理解をめざして～

金沢市立弥生小学校教諭 丸 瑤子* 金沢市立大徳小学校教諭 中島 晶子
金沢市立泉野小学校教諭 室木千恵子 金沢市立戸板小学校教諭 吉川 恭子

子どもが主体的に知を創造、更新していく理科学習

～実感を伴った理解を目指す、小学校「生命」領域の研究～

金沢市立田上小学校教諭 濱田 貴宏* 金沢大学附属小学校教諭 岩崎 誠
金沢市立杜の里小学校教諭 大井山 武 金沢市立木曳野小学校教諭 山口 裕樹
金沢市立田上小学校教諭 竹田 嘉徳 金沢市立米丸小学校教諭 田井 和基

〔佳良賞〕

子どもが主体的に知を創造、更新していく理科学習

～実感を伴った理解を目指す、小学校「地球」領域の研究～

津幡町立中条小学校教諭 平木 貴裕* 金沢市立小坂小学校教諭 久野 将義
金沢市立中央小学校教諭 常光 史明 金沢市立大野町小学校教諭 永井 重輝
金沢市立味噌蔵町小学校教諭 筒井 邦治 金沢市立小坂小学校教諭 中野 岳央

既習を生かし実感を伴ってエネルギーについての

見方や考え方をもつための単元の工夫

－ 3, 5年の実践から－

金沢市立三和小学校教諭 戸田 真実

中学校理科教材の工夫

～3年「微生物のはたらき」「力学的エネルギー」の実践から～

金沢市立野田中学校教諭 船戸 伸之

デジタルカメラを用いたグループ活動

～表現力の向上を目指して～

金沢市立西南部中学校教諭 吉村 威志* 金沢市立西南部中学校教諭 原 宏史